

世界法学会 2022 年度研究大会報告者公募のお知らせ

2021 年 8 月 7 日 世界法学会企画委員会

本学会は、2022 年 5 月 21 日（土）に大阪市立大学（2022 年 4 月から大阪公立大学（仮称・設置認可申請中））において研究大会を開催します。

企画委員会は、2021 年からの 3 年間の研究大会について、「世界秩序の危機と再生」という中期コンセプトを定めました。その上で、2022 年度の研究テーマのための年次テーマは、「国際『紛争』の非合理性に直面する世界法構想；国際連合の機能を中心に」と設定しています。中期コンセプトおよび年次テーマについては、別紙も参照してください。

具体的には、南シナ海紛争における仲裁の意義と限界、チャゴス群島紛争と国連総会・国際司法裁判所、国際連合と平和構築、などが取り上げられる予定です。中期コンセプトにはかかわるものの、年次テーマとは直接かかわらない個別報告枠を設けることも考えています。

この研究大会への報告者の一部を下記の要領で公募します。若手の研究者や実務家をはじめ、多くの会員の方々が応募されることを期待しています。

なお、新型コロナ(Covid-19)の感染状況によっては、実地で集合しての研究大会の開催が不可能となる可能性もあります。その場合にどのような形で開催するかは、学会執行部の決定によります。とりわけオンデマンド・オンライン併用方式になる可能性にご留意ください。その場合、事前に音声ファイル等の提出をお願いすることがあります。

記

1. 公募内容

公募報告者数は若干名。報告テーマは、上記の 2022 年の年次テーマあるいは中期コンセプトにかかわるものであれば、特段の制約はありません。報告時間は 1 人 25 分で、報告後、質疑応答を行います。英語での報告を希望される場合は、ご相談ください。

2. 応募資格

2022 年度研究大会開催時に本学会の会員になっていること。本学会への入会手続については、本学会ホームページ(<http://www.jawl.jp/application.html>)をご覧ください。

3. 応募手続

次の①～⑦を記載したファイルを、2021 年 12 月末日までに、メールで本学会事務局宛 (info@jawl.jp) に送付してください。期日を過ぎた応募は、一切受け付けません。

①氏名

②所属・地位

③連絡先（メールアドレス、電話番号、住所）

④略歴・主要業績リスト

⑤報告テーマ

⑥報告の構成（目次など）

⑦報告概要（2,000 字以内）

4. 審査結果の通知

企画委員会で審査を行い、2022 年 1 月末日までに応募者に結果を通知します。

以上